

2024年5月13日

各位

会社名 株式会社フレクト
 代表者名 代表取締役CEO 黒川 幸治
 (コード番号: 4414 東証グロース)
 問い合わせ先 執行役員コーポレート本部長CFO 塚腰 和男
 TEL. 03-5159-2090

2024年3月期決算 高い関心が想定される事項

2024年3月期決算について、投資家の皆様の高い関心が想定される事項を、以下のとおり記載いたしました。

Q1. 2024年3月期の修正予想に対する営業利益の進捗率が113.4%と好調に推移した背景について

A1. 織り込んでいなかった案件を獲得できたため (決算説明資料P.20)

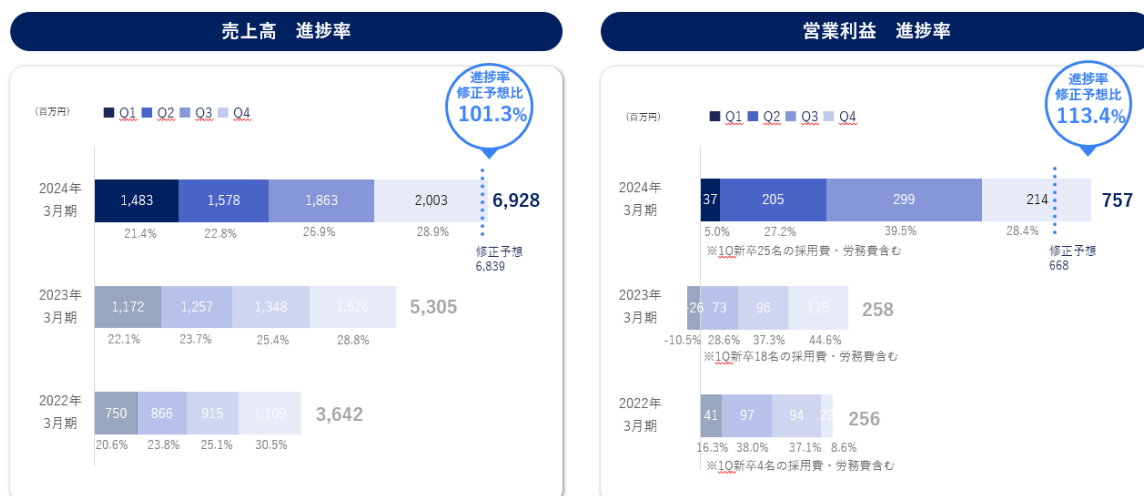
2024年3月期第4四半期会計期間において、想定以上のDX支援の引き合いにより、修正予想に対する売上高進捗率は101.3%、営業利益進捗率は113.4%の進捗率となり、好調に推移しました。

第3四半期会計期間において、MuleSoft 導入支援のプロジェクトに関して、既存顧客から追加で大口の引き合いが発生しております。第4四半期会計期間においては、当該引き合いの継続性や規模が流動的であったため、修正予想に織り込んでいないプロジェクトがありましたが、結果としては、大部分を受注することができました。

また、その他のプロジェクトについても想定以上に受注でき、プロジェクトも健全に推移したことから、売上総利益率を維持、予定通りに業績連動型の賞与及び投資拡大で販管費を約150百万円積み増しましたが、営業利益は想定以上の水準で着地しました。

(2024年3月期-通期) 業績進捗

修正予想に対する売上高進捗率は101.3%、営業利益進捗率は113.4%の進捗率となり、修正予想を超過して着地しました。



Q 2. 2024年3月期の修正予想に対する当期純利益の進捗率が98.1%と未達になった背景について

A 2. 留保金課税を75百万円計上することとなったため (決算説明資料P.19)

前述の通り、2024年3月期の修正予想に対する営業利益進捗率は113.4%の進捗率となり、好調に推移しました。一方で、当期純利益については、修正予想公表時に織り込んでいなかった留保金課税が75百万円発生したため、98.1%の進捗率となり未達となりました。

留保金課税は、特定同族会社（1株主グループの発行済株式総数に対する株式保有割合が50%超、かつ、資本金1億円超の企業）において、内部留保に課される税金となります。2023年3月期までは、利益（留保所得金額）が課税控除される金額以下となっていたため、当該課税が発生していませんでしたが、2024年3月期は好調な業績により、利益（留保所得金額）が課税控除される金額を超えたため、当該課税が発生しました。

なお、2025年3月期の業績予想には当該課税を織り込んでおります。留保金課税の対応について、今後検討してまいります。

(2024年3月期-通期) 業績サマリー

通期の売上高は6,928百万円（前年同期比+30.6%）、売上総利益は3,001百万円（前年同期比+46.7%）、営業利益は757百万円（前年同期比+193.5%）、当期純利益は440百万円（前年同期比+98.0%）と売上高、各段階利益ともに過去最高となりました。
 なお、当期純利益においては、留保金課税を計上したことから修正予想に対する進捗率は98.1%となりました。

	2023年3月期 (4月-3月)	2024年3月期 (4月-3月)	前年比		2024年3月期 通期業績予想 (2024年2月6日 公表予想)	予実進捗率
			増減額	増減率		
売上高	5,305	6,928	+1,622	+30.6%	6,839	101.3%
売上総利益 (%)	2,045 38.6%	3,001 43.3%	+956 +4.8pt	+46.7% -	2,930 42.8%	102.4%
販管費 (%)	1,787 33.7%	2,244 32.4%	+456 △1.3pt	+25.6% -	2,262 33.1%	99.2%
営業利益 (%)	258 4.9%	757 10.9%	+499 +6.1pt	+193.5% -	668 9.8%	113.4%
当期純利益 (%)	222 4.2%	440 6.4%	+217 +2.2pt	+98.0% -	449 6.6%	98.1%

Q 3. 2025年3月期通期業績予想の考え方について

A 3. 引き続き堅調なDX需要を見込むなかで、持続的な成長に向けた投資を拡大（決算説明資料P. 22）

DX 支援の需要は旺盛であり、2025 年3月期においても堅調な引き合いを想定し、売上高は 8,353 百万円（前年同期比+20.6%）を見込んでいます。既存顧客の取引拡大とのバランスを取りながら、新規顧客 20 社前後の獲得を目指していきます。

費用面については、旺盛な需要に応える開発体制の増強が必要不可欠であるため、採用・教育費及び人員増加による人件費増等の積極的な人材投資を見込んでおります。なお、2024 年4月の新卒入社は、理系院卒で 34 人となります。

加えて、持続的な成長に向けて、横断で事業活動を支援する組織を新設及び拡充することにより、人件費の増加を見込んでいます。具体的には、提案・開発ノウハウのナレッジシェア、品質担保の更なる強化、新たなクラウドプラットフォームの技術習得や AI 等の先端技術への先行投資、さらに社員エンゲージメント強化等を企図した複数の組織となります。

結果として、営業利益は919 百万円（前年同期比+21.4%）を計画しています。当期純利益については、留保金課税を織り込み、547 百万円（前年同期比+24.2%）を計画しています。

（2025年3月期-通期）業績予想

25年3月期においても旺盛なDX需要を想定しています。また、持続的な成長に向けて、横断で事業活動を支援する組織の新設・拡充に加え、社員エンゲージメント強化を企図した人材への投資拡大を織り込んでいます。以上の結果、売上高は8,353百万円（前年同期比+20.6%）、売上総利益は3,641百万円（前年同期比+21.3%）、営業利益は919百万円（前年同期比+21.4%）、当期純利益は547百万円（前年同期比+24.2%）を見込んでいます。

(百万円)

	2024年3月期 通期 (4月-3月)	2025年3月期 通期（予） (4月-3月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,928	8,353	+1,425	+20.6%
売上総利益	3,001	3,641	+640	+21.3%
(%)	43.3%	43.6%	+0.3pt	-
販管費	2,244	2,722	+477	+21.3%
(%)	32.4%	32.6%	+0.2pt	-
営業利益	757	919	+162	+21.4%
(%)	10.9%	11.0%	+0.1pt	-
当期純利益	440	547	+106	+24.2%
(%)	6.4%	6.6%	+0.2pt	-

© FLEET CO., LTD. 22

以 上